

注)「コメっち」:コメっちわくわくクラブ

| 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| ①部活動改革全般 | |
| 改革に関しては、重要だと思うが、子供達が不利益を受けない様に体制整備が必要。 | 大きな改革であり、関係者からのご理解ご協力をいただかなければならない部分も多いと思いますが、生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築を第一に目指して体制整備を図っていきます。 |
| 余目中学校と立川中学校を合併すれば部・クラブを統合できてよいのではないか。郡で考えるなら、県で町の合併を推進し、三川中との三校で合併すればよいのではないかと。 | 庄内町では、小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する方針を策定するため、庄内町学校適正規模・適正配置審議会を設置し、調査審議を行っています。 |
| 任意加入なら、生徒の無所属、部・クラブへの不参加でもよいのではないかと。 | 現行も任意加入であり、どこにも所属しないことも可能となっています。 |
| A活動が残る限り部員不足の解消にはならないのではないかと。 | 部活動（A活動）や、学校長が許可した保護者会主催の支援クラブ（B活動）は、将来的には地域移行により無くなるものと考えられますが、当面はA活動の選択肢が残るため、部員不足という事案が起きることも避けられないと考えられます。 |
| 具体的な解決例等含め、他市町の情報も収集してほしい。 | 近隣市町や庄内教育事務所への情報提供を引き続き行います。 |
| B活動が成り立っているのに、なぜ地域移行しなければならないのかわからない。 | 当面は、B活動でも休日や平日夜の地域移行（顧問がつかない）は可能ですが、将来的には部活動（A活動）や、学校長の許可が必要となる支援クラブ活動（B活動）は無くなるものと考えられます。その後は地域クラブ活動（C-1, C-2）で活動することになります。そのため、B活動で地域移行が成り立っているとしても、町主導の受け皿としてのコメっち（C-1）への移行を進めているものです。 |
| ②庄内町の取り組み | |
| 地域移行した場合でも、夜間練習週〇回というしぼりは残るのか。 | 地域移行後も、特にC-1活動については「庄内町小中学生のスポーツ・文化活動ガイドライン」に基づいての活動となりますので、練習回数や時間などは引き続き制限があります。 |
| <p>①吹奏楽部の場合、施設や、楽器の運機など課題が多く、地域クラブ活動を選択する可能性が低い。</p> <p>②文化部は響ホール事業推進協議会が受け皿だが、地域クラブ活動の魅力が乏しければ、加入しないという選択が多数となり成立しないのではないかと。</p> <p>③立川中は吹奏楽部の部活動がないので、コンクールなどの大会には出場出来ない。地域クラブ活動があっても、休日だけの趣味の一つで終わってしまうのではないかと。</p> <p>④大会は土日開催が多い。顧問には指揮を務めてもらっている。その点はどのように対応を考えればいいのか。</p> | <p>①吹奏楽部での施設面や備品面での課題が多いことはお聞きしています。指導者や保護者と情報を交換する場を設けながら、解決策を見出していく必要があると考えています。</p> <p>②部活動（A活動）があるうちはそうした選択も可能ではありますが、将来的には文化部も運動部もすべて地域に移行していく方向性です（部活動や支援クラブ（B活動）は将来的には無くなるものと考えられる）。子供達が活動しやすい環境を整備し、メリットを増やしながら、地域移行を進めていきたいと考えています。</p> <p>③吹奏楽部が地域移行して地域クラブとなった場合、余目中生徒については部活動と地域クラブ活動（C-1活動）両方に加入でき、コンクールにはいずれから出場するかを選択する必要があります。また立川中生徒が吹奏楽をしたい場合は、地域クラブへのみ加入が可能になります。地域クラブでの出場が可能なコンクールがあるかどうか、出場要件を確認し判断する必要があります。</p> <p>④改革推進期間は、土日の活動に顧問がつくことを徐々に減らしていくこととしていますが、将来的には文化部も地域移行し、部活動ではなく地域クラブ活動となります。よって、顧問は指導には従事しない（「顧問」自体がいなくなる）、地域クラブ指導者が主に指導を担うこととなります。（顧問が了承するのであれば地域クラブ指導者として指導することができます）</p> |
| 平日の放課後の活動に、A、B活動がいつしょになっている時はどうするのか。 | A活動とB活動は、時間で区切られることとなりますので、活動の交代時間帯にそれぞれの指導者が一時的に一緒になることなどはあるとは思いますが、活動時間が重なるということは通常ありません。 |

| 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>①子供がスポ少でサッカーをしているが、週2日と週末の練習試合等送迎が大変。特に四小学区や立川等、余目中心より、離れた地域について、平日の部活動についてもスクールバスでの送迎等対応してもらいたい。</p> <p>②休日のコメっちでの活動も、コメっちでマイクロバスを導入し、会場まで送迎してもらいたい。</p> <p>③休日の部活動について、コメっちに加入して、追加で会費を払うとの事だが、今まで、部活動で無償で休日も活動していたものが、純粋に負担増になる。県や国からの補助金を使い、無料にってもらいたい。</p> <p>④教員の働き方改革の為、休日を皮切りに平日の時間外もいずれ地域に移行することだが、地域の受け皿も、ボランティアに頼っていたり、持続可能な状態ではない。仕事兼務では民間は限界があるため、学校として専門のスタッフを雇ってはどうか。地域指導者の収入面を補償することで、地域の受け皿の拡充を図ってもらいたい。</p> | <p>①②スクールバスについては、登下校や学校行事など、町内児童生徒の学校教育活動での運行となります。両中学校の合同部活動の際など、特例で運行する場合がありますが、原則部活動の送迎での運行は現時点では考えていません。ただし、地域移行によりコメっちでの活動となった場合、町営バスの無料乗車、スクールバスの運行について調整検討を図っていく予定です。なお、現時点でコメっちでマイクロバスを所有する考えはありません。</p> <p>③国や県の支援がある場合は活用しながら進めていきますが、地域クラブ活動では、原則受益者負担となりますので、ご理解をいただきたくお願いいたします。（会費等の金額は今後検討）</p> <p>④地域クラブ活動は、地域の指導者や保護者などの力は欠かせません。町主導で設置する受け皿（コメっち）では、指導者については、町スポーツ協会から指導者推薦等のご協力をいただきながら、指導謝礼金の財源確保に努めていきたいと考えています。部活動の地域移行はこれまで学校で行っていた部活動を地域クラブに移していくものとなりますので、学校としてスタッフを雇用することは考えておりませんが、地域の指導者としての謝金等のあり方を検討していきます。</p> |
| <p>コメっちで中体連に出場できないときはどうなるのか。</p> | <p>令和6年度はコメッチは中体連登録をせず、練習活動のみ受け皿となる「試行期間」とする予定ですので、中体連出場は部活動（A活動）での出場となります。</p> |
| <p>①地域クラブ（コメっち）が受け皿となる方向性だが、地域クラブで庄内町のスポーツ活動全部を受け入れる事できるのか。少し無理があるのではないのか。</p> <p>②夏休みなど、長期休みなどはどのような対応になるのか。</p> | <p>①町主導の受け皿として、運動部についてはコメっちわくわくクラブ（中学生コース）となります。現在、余目中と立川中あわせて20を超える運動部・クラブがありますが、意向調査結果によるとスポ少や単独での地域クラブを目指す種目もあるほか、また同じ種目であれば両中学校の生徒がコメっちで一緒になって一つの地域クラブとして活動することになります。よって、意向調査の回答で”将来的にコメっちまたは支援クラブへの意向を考えている”部・クラブを受け入れると想定すれば、現時点では約10クラブとなり、受け入れ可能と考えています。</p> <p>②夏休みなども、コメっちでの活動となります。（A活動は基本的に平日放課後の活動のみだが、夏休みなどの長期休みは平日の日中に部活動をすることもある。今後も教員が勤務時間の中で部活動として行うことも可能。）</p> |
| <p>各競技毎に説明・協議する場を設けてほしい。（細かいところで不明なことが多くある。競技毎事情がちがうと思われる。）</p> | <p>令和6年度からコメっちに移行する意向の部・クラブについては意向調査後に個別の話し合いを行い、詳細な説明や意向の再確認を行いました。その他の部・クラブについても、今後順次個別の話し合いの場を設けていく予定です。</p> |
| <p>コメっちに加入した場合の体育施設の利用料金は発生するのか。</p> | <p>町内社会体育施設及び学校教育施設については、全額減免となるよう調整していく考えです。</p> |
| <p>①町外中学生のコメっち加入は可能か。</p> <p>②生徒派遣費補助金は今後コメっちに充当されるのか。それとも地域移行のクラブへ充当されるのか？</p> | <p>①可能です。</p> <p>②支援の継続は考えていますが、補助金交付先等は今後調整していく予定です。</p> |
| <p>地域移行の見通しが立つまでは、保護者クラブで活動していくのが無難な気がする。</p> | <p>保護者会主催の支援クラブ活動（B活動）も、休日の段階的な地域移行達成に向けた一つの方法ですが、将来的には部活動（A活動）や支援クラブ活動（B活動）はなくなるものと考えられますので、将来的には町主導で設置する受け皿である地域クラブ（コメっち C-1活動）への移行を推進していく考えです。</p> |
| <p>コメっちへの移行の時期について、現中学1年生が切り替え時期に重なってしまう。団体競技であれば、指導者が変わってしまう等なおさら不安を感じるのではないのか。保護者の意見としては、しっかり指導してくれて、大会でも活躍できる団体に所属してほしい。未確定な事が多すぎて不安。</p> | <p>未確定な部分が多く、関係する皆様に不安を抱かせてしまい大変申し訳ございません。情報は随時様々な形でお知らせしていくほか、今後、各部・クラブと個別に説明や情報を交換できる場の設定も考えています。</p> |
| <p>本人はクラブ活動希望しても家庭の事情等で参加できない希望者への対応を考えているか。</p> | <p>「家庭の事情」の具体的内容がわかりませんが、交通手段では地域クラブ活動（C-1）でも町営バスが無料で乗れるように今後調整予定です。年会費などの徴収金については、これから具体的な金額試算などを行っていきますが、原則受益者負担としながら、国や県の財政支援等ある場合はその活用も検討し、会員負担軽減を図ります。</p> |

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>①様々な部活動への参加ができることはメリットと思うが、一方で、1) 保護者、指導者の事務的な負担増、2)活動への送迎が発生するなど経済的な面での負担増、3)民間のクラブ含め、生徒に多くの選択肢が増えることにより、団体競技のチーム形成がより難しくなる、などの問題が起らないのか不安が残る。結果的に少子化の中で部活動に関わる生徒が減らないようにしてほしい。</p> <p>②子供達が部活動に関わりやすいよう移動手段について町の支援をお願いしたい。</p> | <p>①顧問が担ってきた事務が地域クラブ活動の構成員（コメっち、地域クラブ指導者、保護者）で担うこととなりますが、詳細はこれから調整していくこととなります。送迎について、活動場所ではできるだけ現状と同じ場所でできるようにしていきたいと考えていますが、平日夜や休日は、原則保護者送迎と考えています。その他、町営バスの無料利用なども今後調整していきます。部活動改革は、中学生の部活動を取り巻く環境が、近年の少子化や教員の恒常的な時間外勤務から、将来的に部活動の持続可能な運営が困難になると言われている背景から、子供達が多様な活動を体験できる機会の提供、将来にわたり継続して活動に取り組むことができる体制整備を目的としています。関係各位からも、子供達がスポーツや文化活動に親しんでいけるようご協力お願いいたします。</p> <p>②町営バスの無料乗車、スクールバスの運行について調整検討を図っていく予定です。</p> |
| <p>現状はクラブ活動として活動しているが、学校側との情報交換はほぼ無い状況。間にコメっちが入るとなぜ情報交換が進むのか。</p> | <p>現在のB活動も、学校長の許可の下での活動となっており、顧問も配置されていますので、ある程度の生徒の様子などは学校でも把握していると思います。コメっちでの地域クラブ活動となれば、顧問もつかないこととなりますので、生徒の様子など情報共有できる場を定期的に設ける必要があると考えています。</p> |
| <p>③指導者・顧問</p> | |
| <p>地域移行した場合でも、“顧問”が指導する「部活動」が存在するのか。</p> | <p>部活動（A活動）や、学校長が許可した保護者会主催の支援クラブ（B活動）は、将来的には地域移行により無くなるものと考えられます。</p> |
| <p>地域クラブの指導者は、A活動に指導参加できないのか。</p> | <p>現状では、町内両中学校のガイドラインにおいて、A活動の指導には顧問や部活動指導員、地域クラブ指導者が指導にあたることとしています。また地域移行後も、A活動が実施されているうちは、同様となります。</p> |
| <p>地域へ移るのであれば、指導者は保護者でよいのではないか。</p> | <p>保護者も指導者となることは可能ですが、専門的知識があることが必要不可欠となります。地域クラブ指導者については、町スポーツ協会の協力を得ながら、これまでの地域クラブ指導者の方々から引き続き指導していただきたいと考えています。</p> |
| <p>教員は、生徒が地域クラブでどんな活動をしているか把握しておく必要があるのではないか。</p> | <p>地域クラブ活動と学校の間で、活動日程や生徒の活動状況の様子など情報共有する場を定期的に設けていきます。</p> |
| <p>当面地域クラブ指導者は土日の指導とのことだが、平日の指導と一貫性を保たれるのか。学校指導者との調整はどうするのか。</p> | <p>コメっちが受け皿となる地域クラブ活動での指導については、これまでのB活動での指導同様、地域クラブ指導者から平日夜や休日の指導に当たっていただきたく考えています。コメっちでは顧問はつかないこととなりますので、学校とコメっちとの定期的な情報共有の場（指導ではなく子供達の様子や活動日程の情報共有）を設ける必要があると考えています。</p> |
| <p>地域クラブ活動の指導者について、教員の兼職兼業とあるが本末転倒にならないか。</p> | <p>文部科学省も地域クラブ活動を指導することを希望していない教員にその業務を負わせることはあってはならないこと、希望する場合であっても時間外勤務が一定時間を超える場合には認めないとしています。兼職兼業には、教育委員会への届け出が必要となりますので、改革が本末転倒にならないようにチェック体制を整えていきます。</p> |
| <p>現在の外部指導者は今後コメっちに所属することになるのか。</p> | <p>地域クラブ指導者について、当面は国や県の制度や財政支援などの状況を見極めながら、これまでどおり町で委嘱しますが、将来的にはコメっちが委嘱することを想定しています。</p> |
| <p>コメっちでは体操を指導してもらえるのか。設備など大丈夫なのか。</p> | <p>指導者について、町スポーツ協会の推薦により町（将来的にはコメっち）が委嘱し、指導いただく考えです。スポーツ少年団が受け皿となった場合も、当面は現状のとおり町が委嘱した地域クラブ指導者がスポ少で指導に当たります。</p> |

| 質 問 | 回 答 |
|---|--|
| ④中体連など大会出場関連 | |
| <p>①なぜ団体競技の多くは地区大会から出場できないのか。 ②細かすぎてわかりづらい（ルールとか細則とか）。シンプルに決めてほしい。</p> | <p>①令和6年度の方向性としては、「団体競技は県大会からの参加」「個人競技の個人種目は地区大会からの参加、団体種目（リレー・団体戦等）は各専門部の判断」としています。 理由として、以下のことが挙げられます。 ○ 地区大会は、県中体連主催大会ではなく、各地区中体連主催大会であることから、団体競技におけるクラブの地区大会からの参加は教員の大きな負担になり、大会運営が難しいこと。 ○ 地区大会は、各地区中体連加盟校に所属する生徒に参加資格が与えられている大会であり、チームを構成する選手の所属する学校が、他地区中体連になる場合は大会参加が認められないこと。 ○ 学校から参加するチームは地区大会が県総体の予選会を兼ね、クラブから参加するチームはクラブ同士での代表決定戦を行うことになっており、条件は公平であること。（クラブの参加数によっては、地区予選に参加するよりも県大会参加が容易な場合があります） ②参加資格細則は、日本中学校体育連盟「運営の基本と大会開催基準」・「地域クラブ活動参加特例における競技部細則」に準じて設定しているため、全国的に同じです。 山形県中学校体育連盟参加資格特例細則については、上記に準じながら、山形県の実情等に応じて県専門部で設定しています。また、分かりやすいよう項目ごとに表様式にしています。</p> |
| <p>地域クラブ登録した場合、地区大会から出場できず、クラブチーム同士の県大会へ出場する一チームを決める決定戦を行うことについて、県内でクラブチーム登録するチームがどのくらいになるか分からないが、かえって県大会出場のハードルが高くなるのではないのか。</p> | <p>学校から参加するチームは地区大会が県総体の予選会を兼ね、クラブから参加するチームはクラブ同士での代表決定戦を行うことになっており、条件は公平と考えられます。（クラブの参加数によっては、地区予選に参加するよりも県大会参加が容易な場合があります。）</p> |
| <p>地域クラブの作り方を教えてもらいたい。（令和6年度からクラブ化したい）。コメっちわくわくクラブに入れば、中体連に出場できるのか。</p> | <p>コメっちでは、令和6年度に加入した団体については休日や平日夜の練習活動のみを行い、中体連大会出場に向けた登録は行いません。中体連登録は令和7年度からを目指す予定です。よって令和6年度にコメっちに入っても、コメっちとして中体連には出場できません。単独で地域クラブを作って中体連に出場する場合は、県中体連が規定する様々な条件をクリアして登録する必要がありますので、県中体連へお問い合わせください。</p> |
| <p>地域クラブとして出場する際、一人1競技とあるが、途中で“練習についていけない”“いじめがあった”などの理由で辞めた場合、その選手は1年間、何のスポーツにも所属、大会参加はできないのか。</p> | <p>学校から・地域クラブからの参加を問わず、一人1競技への参加は、上位大会を通じて大会要項で決められています。一連の大会（地区大会～全国大会）に複数種目や異なる種目出場することはできません。 参加区分の変更については、質問にあるような特別な事情のある場合は、学校と所属クラブにご相談ください。参加区分の変更が認められる場合があります。 ただし、所属クラブが県中学校体育連盟に登録されていない場合や、学校で大会引率を行っていない場合など大会出場ができないこともあります。</p> |
| <p>他の地域クラブへ参加したくても、県のルール上で参加できない場合はどうなるのか。（県の中学校主催大会）</p> | <p>中体連大会の出場のことであれば、県中体連の登録要件や競技細則に準じて登録した地域クラブから出場することになります。 県中体連主催大会に出場できる地域クラブの参加対象範囲は山形県内の中学校に在籍している生徒となっています。その上で、その地域クラブが参加できるかどうかは、県中体連の登録要件や競技毎の参加資格細則に基づくこととなります。</p> |
| <p>各競技で違いがあるとのことだが、コメっちで活動しても、出場出来ない種目があるのではないのか。</p> | <p>県中体連で、大会出場に必要な要件や競技細則が定められています。令和6年度の考え方も令和5年9月4日に示されました。定められた要件に沿って出場することが必要になりますが、コメっちでも中体連の動向を随時把握しながら地域移行の体制整備を図っていきます。</p> |
| <p>部活と地域クラブ両方に加入した場合、大会等どちらにも出場するのか生徒が選択するというのは無理がある。チームスポーツは個々で異なっては無理である。</p> | <p>団体競技の場合、選択により出場できなくなるという事案も可能性としては考えられます。現状もA活動とB活動両方の生徒や、いずれかのみ生徒がいる種目があることも事実です。部活動と地域クラブ活動両方がある場合として、その出場選択も生徒の自由な判断によるものであるということもご理解いただきたく思います。</p> |

| 質 問 | 回 答 |
|---|--|
| <p>地域移行になった場合のメリットについては理解出来るが、デメリットは考えないのか。 大会に同じ中学校から、中学校として出場する子とクラブから出場する子とがいて、大会で試合をする場合の勝敗で学校生活に影響がないのか。ケアは学校にお任せでいいのか。</p> | <p>当面は地域クラブと部活動が並行して存在しますので、そうした事案や心配も考えられます。またいずれは部活動（A活動）や支援クラブ（B活動）も無くなり、すべて地域移行となった場合も、同じ学校の生徒でも町主導の受け皿（コメっち）に加入する生徒もいれば、ほかの民間クラブ、スポーツ少年団と、様々な地域クラブに入ることも当然考えられます。それぞれ生徒の思いや目標があって様々なクラブに加入するわけではありますが、なお地域クラブとしても生徒の心のケアに注意を配るとともに、地域クラブと学校で定期的な情報共有の場を設けたり、随時連絡を取り合っていく必要があると思います。</p> |
| <p>大会出場の自己負担について、東北、全国の上位大会もこれまで通りの支援を受けることはできないのか。</p> | <p>庄内町立中学校生徒派遣費補助金（中体連大会等における交通費や宿泊費などへの補助金支援）は現状どおりの支援を考えています。なお、現制度での補助金交付先である余目中学校教育振興会及び立川中学校教育後援会との調整が必要になります。</p> |
| <p>令和6年度からコメっちへ登録して、大会に出ることはできないのか。資料には、令和6年度は試行期間として練習活動のみで、A活動またはB活動のどちらかで大会に出場となっている為、クラブであれば団体戦に出場できるのに、練習活動だけでは出場できない。</p> | <p>令和6年度は説明のとおりです。また地域クラブが中体連登録した場合、令和5年9月4日に県中体連から示された方針では、 ・個人競技クラブ所属選手は地区大会から出場・団体競技クラブチームは県大会から出場（体操・新体操・相撲は地区予選なし） ・個人競技は原則として「団体種目（団体戦）は県大会から」と示されています。令和7年度からコメっちも中体連登録し、コメっちとして中体連大会へ出場を考えていますが、各部・支援クラブへの不利益が生じないか、中体連の動向を見ながら進めていきます。</p> |
| <p>県大会出場決定戦一つは少ないのではないのか。</p> | <p>学校から参加するチームは地区大会が県総体の予選会を兼ね、クラブから参加するチームはクラブ同士での代表決定戦を行うことになっており、条件は公平と考えられます。（クラブの参加数によっては、地区予選に参加するよりも県大会参加が容易な場合があります。）</p> |
| <p>①団体競技が地区大会からの出場が認められないのはなぜか。地区大会から出場できなければ、総合型クラブへの加入が少なくなるのではないのか。 ②万が一、総合型クラブ内で人数が揃わず、また他市町村の学校も揃わないため、合同チームを作りたいとした時、他市町村の生徒のコメっちへの登録は可能になるのか。 ③A中学校の子供達とB中学校の子供達がそれぞれコメっちに入り一緒に活動する中で、中体連の大会に出場する際、A中学校の子供達が部活で出場したいとなった時、クラブのみにしか加入していないB中学校の子供達の行き場がなくなってしまう可能性があるのではないのか。</p> | <p>①令和6年度の方向性としては、「団体競技は県大会からの参加」「個人競技の個人種目は地区大会からの参加、団体種目（リレー・団体戦等）は各専門部の判断」としています。 理由として、以下のことが挙げられます。 ○ 地区大会は、県中体連主催大会ではなく、各地区中体連主催大会であることから、団体競技におけるクラブの地区大会からの参加は教員の大きな負担になり、大会運営が難しいこと。 ○ 地区大会は、各地区中体連加盟校に所属する生徒に参加資格が与えられている大会であり、チームを構成する選手の所属する学校が、他地区中体連になる場合は大会参加が認められないこと。 ②合同チームは「合同部活動」として団体6種目のみに認められている方法です。田川地区の中学校の部活動であれば、校長同士の承認のもと、どこの学校とも合同チームを組む事ができます。合同チームは、学校の部活動として組む事が認められている制度であり、地域クラブの登録の必要はありません。地域クラブ（コメっち）に他市町村からメンバーを募ることは可能ですが、地域クラブ同士の合同チームは県中体連では認められていません。 ③部活動（A活動）や、学校長が許可した保護者会主催の支援クラブ（B活動）は、将来的には地域移行により無くなるものと考えられますが、当面はA活動の選択肢が残るため、そうした事案が起きる可能性があることも避けられないと考えられます。</p> |
| <p>令和6年度にコメっちに移行（試行）した場合、B活動だけの場合は、B活動やC活動の併用でないと大会に出場できないのではないのか。</p> | <p>令和6年度は試行期間として、コメっちとしての中体連登録は行わない予定です。よって、中体連大会にはA活動、またはB活動としての出場となります。</p> |
| <p>B活動で人数が足りない事があるが、C-1活動のコメっちへの移行でどのようになるのか。また、コメっち移行後も同様に人数が少ないということも考えられるので不安がある。合同チームで行う方向では難しいのか。</p> | <p>C-1活動である地域クラブ（コメっち）になれば、町内外の他校の生徒とともに活動できるため、人数不足の解消につながるというメリットがありますが、ご指摘のとおり、任意加入の部活動や支援クラブ同様、人数不足が完全になくなるという保証はありません。また合同チームは「合同部活動」として団体6種目のみに認められている方法です。地域クラブ（コメっち）に他市町村からメンバーを募ることは可能ですが、地域クラブ同士の合同チームはできません。 （クラブの合同ではなく、どちらかのクラブにまとまることは可能）</p> |

| 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>クラブ、部活動どちらで参加するかによって、どちらか一方が人数不足で大会に参加できないということになってしまうことがあるのではないかと。</p> | <p>部活動（A活動）や、学校長が許可した保護者会主催の支援クラブ（B活動）は、将来的には地域移行により無くなるものと考えられますが、当面はA活動の選択肢が残るため、地域クラブ、部活動どちらかが人数不足になってしまうという事案が起きる可能性があることも避けられないと考えられます。</p> |
| <p>⑤その他</p> | |
| <p>学校、先生の考え方が一致してなくて難しい。</p> | <p>ご指摘ありがとうございます。今後の対応に生かしていきたいと思っておりますので、具体的な内容について学校にご相談いただければと思います。</p> |
| <p>教員の働き方改革で、教員何人のうち8人が80時間をこえているのか。内容として、部活動がどのぐらいのパーセントをしめているのか。</p> | <p>調査の対象となっている教員は約50人です。8人というのは約16%の教員にあたります。そのうち、どのぐらいの割合を部活動がしめているかは把握しておりません。 （他市町村の例として、部活動改革で土日の部活動を地域移行したことにより、教員の時間外勤務時間が平均で月10時間減少している。）</p> |
| <p>任意加入により部員が少なくなった。</p> | <p>部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるとされており、任意参加となることをご理解願います。</p> |